

■採択年度（タイプ・申請区分）※該当の口を■にしてください。／大学名

【ASEAN 対象】 ■H23 (A-Ⅱ) □H24 (Ⅰ) □H24 (Ⅱ) 【AIMS】 □H25／ 大阪大学

■プログラム名

「アジア平和＝人間の安全保障大学連合」を通じた次世代高品位政策リーダーの育成

――以下、タイに特化した内容を主に記載ください。――

■相手大学・機関（国名も記載ください）

(タイ) チェンマイ大学政治行政学部 (大学院)

■主な活動内容（概要）

【短期スタディープログラム】2014年9月18日～26日、短期スタディープログラムをチェンマイ大学にて実施する。参加するのは、日本側提携4大学の大学院生12名。

【セメスタープログラム】毎年、チェンマイ大学から2名（原則）の大学院生を日本側4大学のいずれかに受け入れ、日本側提携4大学から2名（原則）を派遣している。2013年度実績は、チェンマイ大学から広島大学へ受け入れが2名、大阪大学より派遣が2名となっている。

■プログラムの現状・課題、成功事例

(単位互換、危機管理、寮・奨学金、その他プログラムをつくる上での障害等について、できるだけ具体的に記載ください)

現状・課題

- ・セメスター受入の学生については先方で単位認定ができていのかどうかはまだ不明。また、短期スタディープログラムにおいてチェンマイ大学からプログラムに参加する日本の学生に単位が与えられない。また、日本でとった単位がすべて互換されるわけではない(タイでは基本的に3単位、日本側は2単位)。
- ・チェンマイ大学周辺にある民間の学生寮は価格も月額2万円強と安く、基本的備品もあり、治安もよい。日本人学生にとっては生活がしやすい。
- ・プログラム自体は、チェンマイ大学相手学部の英語科目がまだ少なく、日本人学生だけが履修している科目がほとんどといった実態であった。徐々に改善されると聞いている。

成功事例

- ・2014年度、大阪大学・広島大学・チェンマイ大学でTV会議システムを使った遠隔授業を1科目設置している。成功するかどうかはこれからだが、新しい試みとしてスタートさせる。
- ・2014年度4月～6月、広島大学がチェンマイ大学担当教員を招聘した(世界展開の予算ではない)。これによって教員間の関係が深まり、お互いの事情をよく理解するようになったが、こうした教員間のやりとりを促進することがプログラム運営上必要であることを実感した。